

講話「海外のインクルーシブ教育から特別支援教育を考える」への主なコメント

No.	所属先	内容
1	特別支援学校	海外のインクルーシブのことを学ぶことが、普段はできないので貴重な経験になりました。ありがとうございました。今の日本の特別支援教育の流れを少し俯瞰して見る事ができたと思います。
2	特別支援学校	インクルーシブ教育の課題は日本と諸外国で共通する点がある等、大変勉強になりました。
3	教育関係機関	海外に関する情報は科研費の報告書など個別のトピックに関するものが多く、まとまった情報は大変ありがたいです。
4	就学前施設	課題に関しては、国が違っても同じ課題が多く正解が1つではない難しさを感じました。
5	特別支援学校	インクルーシブ教育の考え方について、本来の意味や海外での考え方を知ることができ、認識が変わりました。
6	教育関係機関	外国のインクルーシブ教育といいますか、教育制度について分かりやすくお話をしていただきました。そこから一歩踏み込めば、どのような指導をしているかが分かればよいなと思いました。
7	教育関係機関	北欧の状況という貴重な情報を得ることができ、興味深いものがありました。例えば、インクルーシブ教育における特別学校（特別支援学校）の意義といったものなどが、もう少し明確であると、より講演（各学部の研究）の価値が際立ったように思います。
8	その他	端的、明瞭な説明でありがたかった。各国の制度との関係でインクル的なあり方を説明下さってよく理解できました。学校・学級の中での多様性を踏まえた具体的なあり方が一方の大きな課題であろうから、次段階の研究のご発展をぜひお待ちしたい。
10	特別支援学校	学校内だけでなく、様々な関係機関と連携して取り組んで行く必要があると感じました。
11	小学校	インクルーシブ教育を考える中で、特別支援学級児童生徒も通常学級で学ぶために、さらには、特別支援学校の児童生徒も関わりをもってたくさんの方が経験できるように、教師は、学力だけではなく、基本となる相手を思い一緒に生活していくためにはどうするのかを意識しなければならないのではないかと思います。講演の内容は、世界の状況と日本を比較しても分かりやすかったです。
12	特別支援学校	フィンランドの学校では、全ての学校で取り出し授業や少人数授業をしていると初めて知りました。日本でもそれができればと感じています。フィンランドはどのような手続き（取り出しをすることに対する親の許可等）をしているのか詳しく知りたいと思いました。
14	中学校	日本でも、特別支援教育に関する研修等を、全教員が受け、特別支援教育に関して、他人事ではないという意識をもつことができるようになると、少しずつ変わっていくのかなと思いました。
15	教育関係機関	とても分かりやすかった。巻き戻しができる分、面と向かって発表を聞くより、聞く側にやさしいかもしれない。項立てや流れも、私が聞きたいと思う順番で、ありがたかった。
16	特別支援学校	フィンランドの学校では、全ての学校で取り出し授業や少人数授業をしていると初めて知りました。日本でもそれができればと感じています。フィンランドはどのような手続き（取り出しをすることに対する親の許可等）をしているのか詳しく知りたいと思いました。
17	学生	日本以外の国のインクルーシブ教育を知ることで、日本のインクルーシブ教育や特別支援教育の理解が深まったように感じた。日本でも海外でも様々な課題があるため、色々な方法を知ることが大切だと思った。
18	中学校	キャリアカウンセラーの柔軟な取組など、緩やかな体制、WGについて実際の細かい事例をもっと知りたいと感じました。海外のインクルーシブ教育も日本と似たような課題があることが分かりました。
19	特別支援学校	海外の教育システムについて、インクルーシブの意味と捉えとやり方、課題について知ることができました。専門機関との連携、委員会は大事だけどGWで動くフットワークの軽さも大事とよくわかりました。日々の相談や対応に生かしていきたいです
20	学生	日本の教育制度だけではなく他国の教育制度等を学んでいくことで、日本の教育の仕方を振り返り、改善していく視点を得ることができるのだと感じました。